

三心を磨く

学校だより NO. 41
平成30年10月29日(月)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇今、校長室前の廊下、学習プリントが置かれた引き出しの前が熱い！

～スイッチが入った3年生の姿から～

「もうプリントないよ、私の分で終わっちゃったからね…」
「え～、もう終わっちゃったの、校長先生に刷ってもらおうか！」
これは職員室前の廊下、校長室前に置かれた「学習プリントボックス」付近から聞こえてきた生徒たちの声です。

2週間くらい前から、休み時間を使ってこの場所に多くの生徒が集まるようになりました。実は、この3年生たちの動きの裏には、こんな訳がありました。

それは、アズマデーの中で行われた3年生の「進路学習」において、この春から高校に通っている先輩が、「私は、新しい問題集など買わないで、みんなが持っているのと同じ問題集と校長先生が廊下においてくださったプリントだけをくり返しやってN高校に合格しました」という話をしてくれたのでした。事実この先輩は、昨年の今頃、日々一人で「学習プリントボックス」にやってきて、1年から3年までのすべての問題に挑み、校長先生に提出し採点をしてもらい、間違った問題に再度取り組み、自分の誤答から学んでいた生徒でした。



さらにこの先輩は、2年生の時に、全員に配られた受験問題集を何度も何度もくり返しやり込み、ポイントや課題、苦手なところに何枚もの付箋をつけ、質問をしたりさらに解き直したり… そんな自分の学習の仕方を、自分の受験勉強の取り組み方や経験を、後輩たちに熱く語ってくれたのです。

何枚もの付箋をつけ、質問をしたりさらに解き直したり… そんな自分の学習の仕方を、自分の受験勉強の取り組み方や経験を、後輩たちに熱く語ってくれたのです。

昨年度まで本校に在籍していた先輩、顔なじみの先輩のこうした取り組みは、3年生たちに大きな刺激となり、強いインパクトを与えました。「そうか、先輩みたいにやればいいんだな！」「校長室前の『東中学力アップドリル』がキーなんだ」「廊下のプリントには、そういう意味が隠されていたんだな」等生徒たちの声が聞こえています。

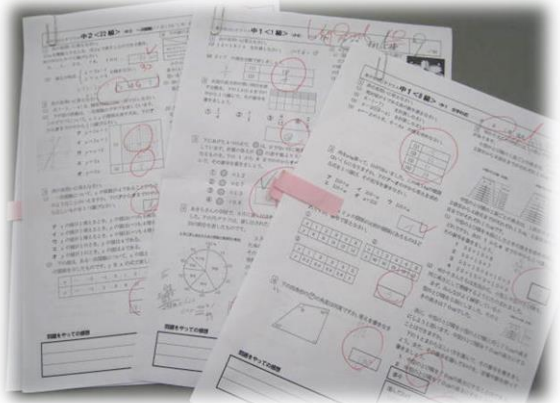
これに伴って、校長先生の確認枚数は日々、どんどん増えていきます。そんなプリントの山を笑顔で見つめ、にこにこ採

点を続ける校長先生

の姿がありました、そして「プリント印刷してください！」と校長先生に笑顔で話す3年生の姿に、「新生東中」の姿を感じます。

現在、校長室前には「数学」「国語」「英語」、そして「理科」のプリントが置かれています。このプリントは、1年生から3年生までのすべての生徒が利用できるようになっています。どんどん活用し、くり返しながら復習や予習に役立ててほしいと願っています。

この輪が全校生徒へと広がっていくことを期待しています。



◇市内4中学で「ネットや SNS 利用に関するルールやマナーづくり」◇



～須坂市中学校生徒会サミットが作成～

須坂市内にある「4中学校の生徒会」の正副会長で組織されている「須坂市中学校生徒会サミット」では、昨今、小・中学生を取り巻く生活環境において、ネットやSNSを利用したトラブルや問題が頻繁に起きていることに対して、「自分たちから、何とかしていきたい」「私たちができることは何か?」などと考え、昨年各中学校の全校生徒にも伝えながら、「ネットやSNS利用に関するルールやマナーづくり」を進めてきました。

その結果、須坂市教育委員会のご協力もいただき、左のようなリーフレット(チラシ)が完成しました。

(生徒たちには生徒集会で紹介・配布)

このリーフレットは、須坂市内の中学校の全生徒および小学校5・6年生全員に配布されています。各小学校へは、学区の中学校生徒会正副会長が、受け渡しのために直接出向いています。

本校からは、下条会長、青木・土屋副会長が、仁礼小と豊丘小学校へ10月25日(木)出向き、児童代表に手渡しで届けました。昼休みという忙しい中でしたが、

受け取った5・6年生の代表児童たちの面持ちは神妙でした。その際、青木副会長より、「近年、小学生でSNSを使う人が増えてきた」ことや、「SNSの利用の際、保護者の許可なしに勝手に使用したり、個人の写真を掲載したりすることでトラブルが起きている」「夜遅くまで友だちとメールやLINEなどのやりとりをすることで、自分だけでなく相手も睡眠不足になる」「ゲーム同様に、SNSへの依存度が高くなるのはよくない」などが伝えられました。児童たちは、その話に大きくうなずき、何かを感じ取ったようです。それから下条会長・土屋副会長よりパンフレットが代表生徒へ手渡されました。東三校の連携が、また1つ前進しました。

SNSの利用については、小・中・高等学校を問わず、大きな問題・課題となっています。LINE、twitter、FacebookといったSNSの利用が多く、それに併せて「ソーシャルゲーム」というものがあり、加えて動画、「オンラインゲーム」などがあります。それらは目新しい情報が即座に手に入る便利さや楽しさ、面識のあるリアルな人間関係はもちろん、面識のない知らない人達とコミュニケーションを取るためにも使われています。

便利な世の中となり、簡単に世界の人々となつなげることができるアイテムですが、その使い方を意識せずに間違った使い方をすれば、大変なことになります。このパンフレットのねらいはそこにあるのです。特に、最近よく聞かれるSNSの問題点として、「個人情報の流出」「炎上」「いじめ」「ソーシャルハラスメント」「フェイク・ニュース」などがあります。これらの問題は、他人事ではなく、須坂市でも起きている「身近な問題」になっています。

しかし、今やSNSの利用を止めることはできません。私たち大人は、「子どもたちもSNSを使う」ということを大前提に、そのルールやモラル・マナーを考え、指導していく必要があります。須坂市中学校生徒会サミットから発信されたこの提案を、学校

はもちろん、家庭や地域も一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。【仁礼小学校の校長室にて】

「秋の夜長」です。ご家庭において、「我が家のSNSルールやマナー」について考えてみませんか?

